

田辺工業が8連覇

県高校総体 体操の男子団体 インターハイへ

県高校総体体操競技の部が26～28日、和歌山市の県立体育館であり、田辺工業が男子団体で8年連続、18回目の優勝を果たした。個人総合でも入賞者6人中5人を田辺工業の選手で占めた。団体と個人入賞者が8月に山形県である全国高校総体(インターハイ)に出場する。

県高校総体の体操競技には個人、団体合わせて5校が出場した。男子の団体は各校のメンバー4人がゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を演技し、上位3人の得点を合計して順位を決めた。田辺工業の得点は226・800点で、準優勝の和歌山工業(81・850点)を大きく引き離れた。男子の個人総合では、田辺



インターハイに出場する田辺工業のメンバー

工業の高田佑貴君(3年)がゆか、あん馬、つり輪、跳馬の4種目で1位になり、総合優勝した。3位には平行棒と鉄棒で1位の今岡一斗君(2年)が入った。4～6位の入賞者も田辺工業の選手だった。

8月2～4日に山形県酒田市であるインターハイには、田辺工業の高田君、木本大晴君(3年)、今岡君、中開紀君(1年)、松田治樹君(1年)、中虹太君(2年)が団体で出場する。個人戦には、県総体の個人総合2位で向陽3年の山本敬太郎君、同5位で田辺工業3年の中田雅貴君が県代表で出場する。

田辺工業の新藤大知顧問は「課題もまだまだあるのでイ

ンターハイまでに調整していき、全国大会ベスト16入りを目指したい」と話している。

6月に近畿大会

田辺高の選手も出場

6月17、18日には、和歌山市の県立体育館で近畿高校体操競技選手権大会がある。男子団体は県総体で1位の田辺工業と2位の和歌山工業が出場する。

近畿大会の男子個人戦は、団体メンバー以外に県総体の成績優秀者も出場できる。田辺工業からは中田雅貴君(3年)、中虹太君(2年)、上村昌臣君(2年)、松田治樹君(1年)、鈴木龍君(3年)、田野智樹君(3年)、田辺からは高岡佑樹君(2年)が出場する。

高岡君は田辺でただ1人の体操部員。日頃は田辺工業で同校体操部と一緒に練習している。田辺の男子体操部員が近畿大会へ出場するのは7年ぶりという。